

上野国分寺七重塔は 約60mの高さ!?

全国に先駆けて建立 天平文化の上野国分寺

「咲く花のほふがごとく」と詠われた平城京で開花した天平文化は、都から遠く離れた上野の地でも息づいていた。

「天平文化とは、仏教と政治が密接に結びついたもの。741年に聖武天皇が発した、国ごとに僧寺と尼寺を建立せよという勅をうけて建てられたのが上野国の国分寺。ここが古代群馬の天平文化の中心であったといえます」と群馬県地域文化研究協議会会長の前澤和之さん。

上野国分寺は、全国に先駆けて完成したとみられる。その象徴と言える七重塔の推定の高さはなんと60・5m、現在の前橋市役所とほぼ同じ高さだったという。前澤さんによると「当時の上野国は、

西から来た政治や文化の窓口的な場所、東国政策の重要拠点でもありました。そして都とつながりをもつ有力豪族や、さまざまな文化や技術を伝えた渡来人がいて、仏教信仰の広がりもあつたことから、全国でもいち早く建立された模範的存在でした。当時、国分寺建設に関わって高い位を授けられた人が全国で5人いますが、そのうち2人が上野国の人なんです」とのこと。



復元された築垣(上)と七重塔の基壇(左)。

現在は基壇や築垣のみ復元されている上野国分寺だが、「調査によつて建物の位置や大きさなどは解明されましたが、巨大な柱や膨



史跡上野国分寺跡 ●MAP B-1
築垣や講堂と七重塔の基壇が復元されている。ガイダンス施設「上野国分寺館」では、七重塔の模型や出土した瓦などを展示。
ガイダンス施設「上野国分寺館」
高崎市引間町250-1
☎027-372-6767 国9時30分～16時30分
国年末年始 休あり

大な量の土、工事にあつた人々をどう集めたのかなど、わかっていないこともたくさんあります。また進入路が不明な南大門の役割など、今後の研究が待たれますね」と前澤さん。



上野国分寺の復元イラスト。国分寺はそれまでの地方の古代寺院の中では飛び抜けて大きく「国の華」とたたえられた。

TOPICS

上野国分寺まつり

天平時代のさらびやかな衣装をまとった行列など、古代の天平文化にふれるイベント。来場者が天平衣装の着付けを体験できるコーナーもある。

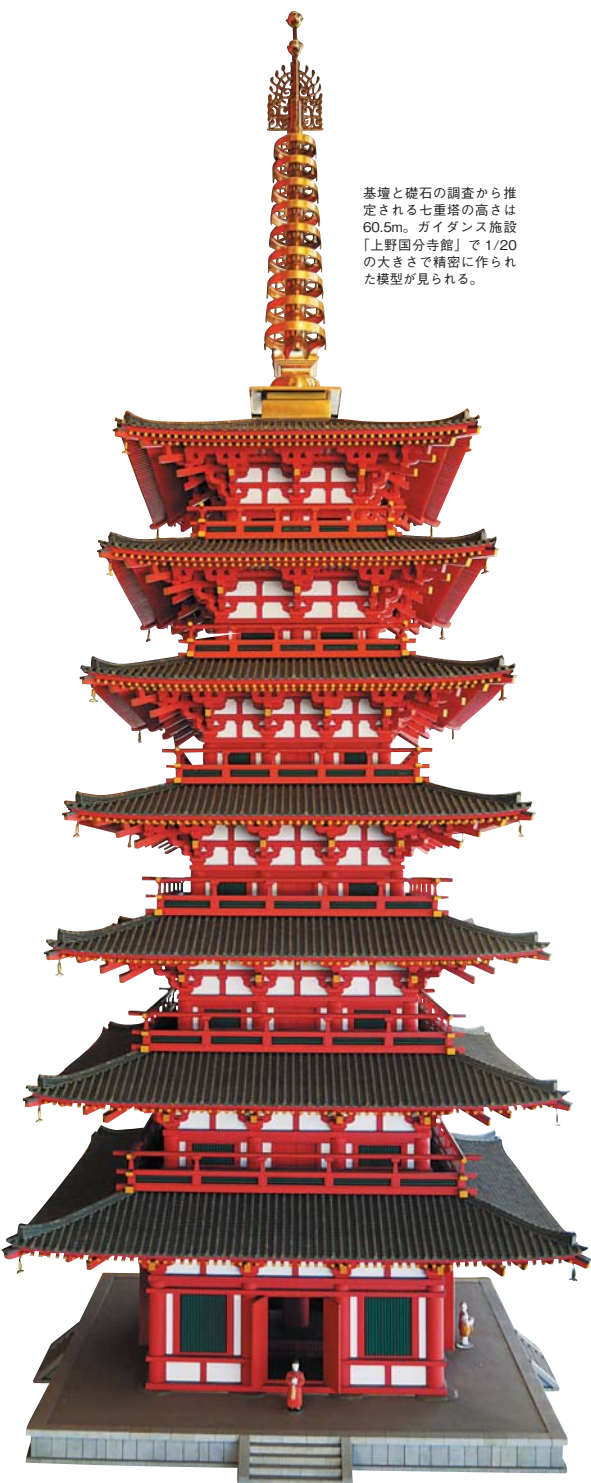


☎027-373-1211 (高崎市群馬支所)
国史跡上野国分寺跡地内 国毎年10月頃



上野国分寺まつり恒例の天平衣装による華やかな行列。当時も国分寺の周辺では、このようなさらびやかな衣装の人たちを見ることができたであろう。

基壇と礎石の調査から推定される七重塔の高さは60.5m。ガイダンス施設「上野国分寺館」で1/20の大きさを精密に作られた模型が見られる。



語り部



群馬県地域文化研究協議会 会長
前澤和之さん

専門は日本古代史・歴史考古学・博物館学。上野国分寺、上野三碑の調査研究を続け、数多くの論文を執筆している。

謎解きキーワード

- ① 国分寺建立の勅
- ② 仏教の広がりとう東国政策
- ③ 地方豪族と渡来人